

## 議会報告会・意見交換会概要

### 【網走桂陽高校で出前授業を実施しました】

市民により開かれた議会を目指して網走市議会は11月5日、網走桂陽高校の生徒との意見交換会を初めて実施しました。

網走桂陽高校の公開授業週間との共催で企画し、市議会議員15名が高校2年生36人と「選挙に行こう！」をテーマに意見を交わしました。

前段では、事前アンケートで「18歳になって参政権を得たら投票に行く」と答えた生徒が5割程度だったことを受け、地方議会が担っている役割や選挙の意義について議会側から説明。その後、議員と生徒と合わせて10人ずつのグループに分かれ、「どのような選挙だったら投票に行くか」「若者の投票率を上げるにはどうしたら良いか」を議論しました。

意見交換では活発なやり取りがあり、「インターネットやスマートフォンを使って投票できるようにしてほしい」「演説を動画で配信して有権者に訴えては」「投票所以外で人が集まっている所で投票できれば便利」「議員と若い世代が触れ合う機会を増やすべき」「地域が良くなる具体的な提案があれば関心が高まる」などの声が寄せられました。

市議会は議会基本条例の策定に前後して2013年から市民向けの議会報告会や意見交換会をこれまで計7回開催してきました。参政権年齢の18歳への引き下げや将来のまちづくりの担い手となる若い世代の意向を政策に積極的に反映しようと桂陽高校生との意見交換会の実施に至りました。